

Shining Achievers

Born from a tore paper!!

今回は、Artの授業の様子をお伝えします。

『やぶいたかたちからうまれたよI was born from a tore paper!!』

紙をやぶいたりちぎったりし、偶然できた形から面白さを見だし、発想を広げて自分の世界を表現していきます。

授業は、基本的に英語で進んでいきます。Let's tear the newspaper! てっていきにびりびりだ! と新聞紙を破るこどもたち。子どもたちは学びの天才ですね。新聞紙1枚で大盛り上がり。あっという間に教室の中はビリビリで溢れます。

そうしたら次はね、「目をつぶって破いてみよう。」「なるべくなが〜く破いてみよう。」「指先を使っていろいろな方向に破いてみよう。」

いろいろな形に気付けるようにそんな問いかけをします。すると、「こんなに長くできた!」「耳の近くで破くとビリビリって音がする!」「破くと楽しい!」「穴があいた!」「こんなおもしろい形になった!」と、教えてくれます。

しばらくすると、「この形、カバみたい!」「スピノサウルスみたい!」「これは日本の地図みたい!」「ビール(しかも瓶ビール!)」と、その後の授業の流れをつくってくれるような発言も出てきます。

「さあ、びりびりに いのちを ふきこもう”What can you see?” “What is this for you?”

さっきまでただのビリビリだった紙にいのちをふきこみ、ビリビリfriendsをつくります。新聞紙だけでなくいろいろな種類の紙を使い、自分だけのビリビリfriendsをつくっていきます。こういう時の子どもたちの勢いは、本当にすごいです。次々と作品ができていきます。中には「ひらめかない…。」とビリビリとにらめっこしている子もいます。その気持ち、よくわかります。ケースバイケースですが、「真剣に考えてくれているんだね。うれしいな。」と声をかけたりします。

この時期の子どもたちは、作りながら考えたり、発想が次々と展開したりするなどの様子が見られます。結果にこだわらずに様々な方法を試し、これからも造形的な見方、考え方を深めていってほしいと思います。

ぜひご家庭でもどんなビリビリfriendsに出会ったのか、話題にあげてみてください。